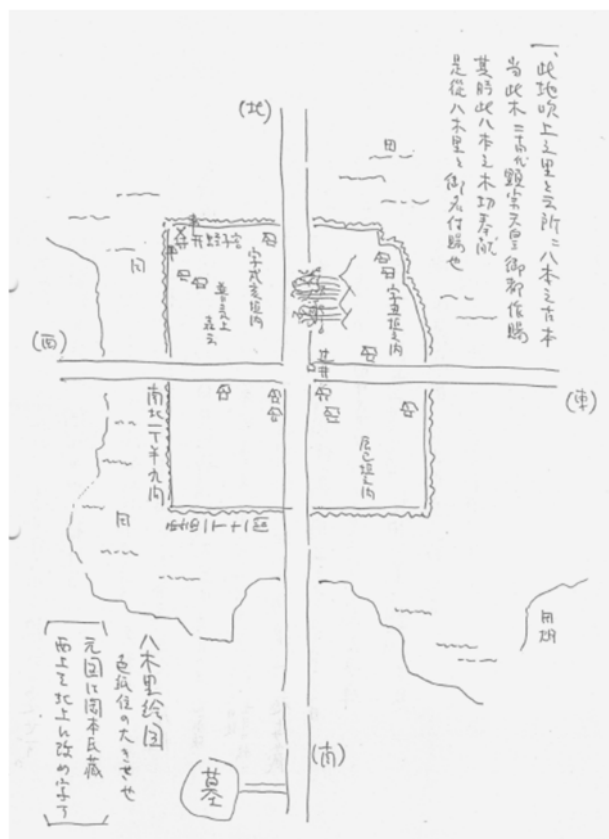


八木町昔むかし

2003 年 7 月 12 日、19 日

太古から上代・近世まで



講師 平井良朋天理大学名誉教授

日時 平成 15 年 7 月 12 日(土)

会場:八木地区公民館

大昔私どもの住んでいる八木の附近は、どんなだったのか。湖だったと言います。それから人が住み、稲を作り、政権が生まれ、都や寺が出来、道がついて貴紳や庶民が行き交い、川舟が物資を運びました。

そして興福寺が全盛だった頃から、次第に衰兆を示すと、世は乱れて派生した土豪の内には八木氏も居ました。度々の火災にもあいましたが、賑やかな市場も出来ました……。

近世から戦後まで

講師 平井良朋天理大学名誉教授

日時 平成 15 年 7 月 19 日(土)

会場:八木地区公民館

室町末期の混乱から、やがて平和な時代が確立します。

細分化された政治機構の下で人々は貢納にはげみ、商業交易に勤め、水を争い、祭礼を楽しみ、飢餓に苦しみ、文芸や娯楽に安らぎを見出し、八木町は市場町・宿場町として賑わいました。

そして明治御一新、新しい産業が起こり、汽車や電車も走り、神社名所地への観光で賑わいましたが、やがて戦争を経て、運しく成長を続けています。

